





# 全校文集『すづかけ』に寄せて

広島市立竹屋小学校 校長 堀井 俊宏

竹屋小学校には、竹屋

いです。

竹屋小学校で学んだ一年

生から六年生まで全児童

が詰まっています。

今年も学年代表が朝会

で発表する「すづかけ朝

会」や異学年で作文を読

み合う「すづかけ交流会」

で取り組みを深めまし

た。

業アルバムなどが並んで

います。今年の『す

づかけ』に目を通したい

と思つた皆様や自分の懐

かしい作品を読みたいと

感じた卒業生の皆様、そ

の他興味をもたれた地域

の皆様、ぜひ竹屋小学校

にお立ち寄りください。

した

『すず

かけ』

は、こ

れまで

の作品

と一緒に

完成

祭り太鼓や竹屋音頭、おつどいなど自慢できる素敵な伝統がたくさんあります。その中で、最も歴史があるのが、全校文集『すづかけ』です。今年もその『すづかけ』が完成しました。第七十一集になります。調べてみると、創刊は一九五六年。それ以来六十年以上毎年創られてきたそうです。全国的に見ても、このように長い歴史をもつ学校文集は珍しく、非常に価値がある取り組みだと思っています。これまで文集づくりに携わってこられた諸先輩方や現在の教職員に敬意を表したいと思います。

そして、継続して理解とご協力くださっている保護者の皆様方に感謝の気持ちでいっぱい

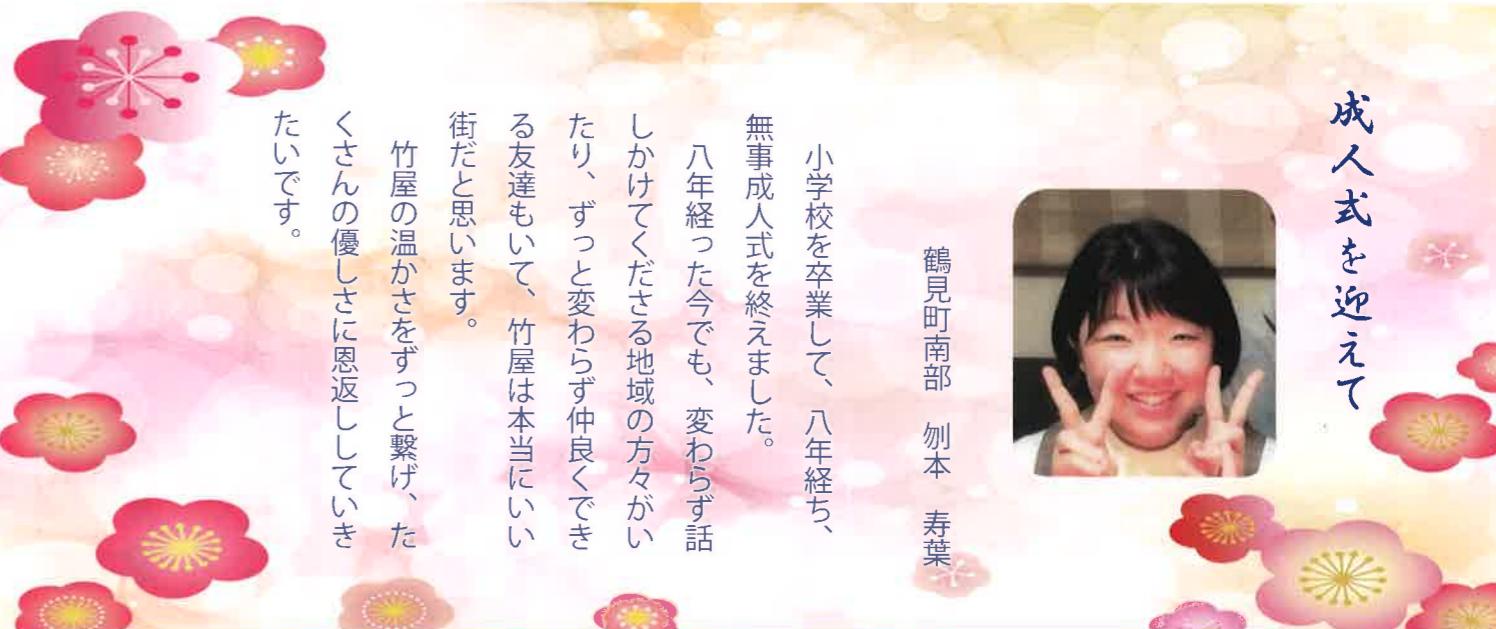
この文集には、今年度竹屋小学校で学んだ一年生から六年生まで全児童の作品が掲載されています。一人一人が一年間の出来事を思い浮かべ、題材を選び、表現方法を工夫して、作文に記しています。ですから、この文集には、竹屋小学校の子どもたちの一年間の思いが詰まっています。

今年も学年代表が朝会で発表する「すづかけ朝会」や異学年で作文を読み合う「すづかけ交流会」で取り組みを深めました。そこで卒業生の皆様、その他の興味をもたれた地域の皆様、ぜひ竹屋小学校にお立ち寄りください。

竹屋小学校を卒業して、八年経ち、無事成人式を終えました。

八年経った今でも、変わらず話しかけてくださる地域の方々がいたり、ずっと変わらず仲良くできる友達もいて、竹屋は本当にいい街だと思います。

竹屋の温かさをずっと繋げ、たくさんの優しさに恩返ししていくたいです。



成人式を迎えて

鶴見町南部 別本 寿葉

# 第15回世代交流どんどまつり

～心豊かに～

どんどまつり実行委員長  
浅野 典久

竹屋の皆さん、心豊かに1年を過ごしてほしいという願いを込めてました。

上側は稻穂を表し、下側はそれを受け止める三方を表しています。

豊(豊)

の字を書きました

平成三十年一月十四日(日)竹屋小学校グラウンドにて「第十五回どんどまつり」を開催いたしました。地域の行事として定着し、子どもからお年寄りまで約五百名が集まりました。

今年も各団体の皆さんに竹の切り出しからお手伝いいただき、準備を進めました。パフォーマンスの「大書初め」を、書道家中井五月先生により、ご披露頂きました。

平和の灯より分火された火を、竹屋ミニバスケットボール部十三名により聖火リレーで持ち帰りました。聖火が、来賓、年男・年女の児童、地域代表の弓矢に分火し、一同にどんどに放たされました。と

んどは勢いよく燃え上がり、子どもたちの歓声が上がりました。グラウンドでは、おなじみの「南中ソーラン」で盛り上がりました。母親クラブが、手作りぜんざい、南中ソーランのコーヒー・スイーツ、ソフトボトルクラブの豚汁、少年サッカークラブの輪投げ等のフランクフルトがあり皆さん楽しんでいました。

来賓には、政調会長岸田文雄様

県議会議員林正夫様、市議会議員夫人永田由美子様をはじめ多くの

方々にご出席いただきました。

穏やかな日差しの中、一年間の無病息災を願う一日でした。